

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会教育委員会議 (第 2 回)		
事務局 (担当課)		生涯学習課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 8 7 (直通)		
開催日時		令和 6 年 9 月 1 3 日 (金) 午後 6 時～午後 8 時		
開催場所		相模原市立総合学習センター 4 階 大会議室		
出席者	委 員	1 2 人 (別紙のとおり)		
	その他	0 人		
	事務局	6 人 (生涯学習課長、外 5 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題 等		1 報告事項 (1) 研究調査報告書概要版について (2) 各種委員会等への派遣について 2 議題 (1) 第 5 6 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について (2) 今後の研究・調査に向けた意見・情報交換 テーマ「相模原市の社会教育に思うこと」 (3) その他		

議 事 の 要 旨

1 報告事項

(1) 研究調査報告書概要版について

(事務局)

研究調査報告書概要版の作成に当たって、これまで委員の皆様からいただいた御意見を踏まえて秦野議長と最終調整をした上で、業者への発注に向けた準備を行っています。

また、より多くの方に見てもらいたいといった委員の皆様からの御意見を踏まえ、ルビを振ったものも併せて作成しています。ルビを振ったものについては、市のHPへの掲載を予定しています。

配付先については、公民館を利用したことがない方にも知ってもらうきっかけになる様に、公民館、図書館、博物館、まちづくりセンター及びこどもセンター等を検討しています。引き続き秦野議長と調整させていただきます。

10月中には完成予定のため、完成次第、委員の皆様配付させていただきます。

(2) 各種委員会等への派遣について

(事務局)

令和4年度に市民大学とあじさい大学の合併に伴い設置された「市民大学あじさい大学コース検討委員会」について、委員の任期が今年度で満了を迎えることから、令和7年度に向けた委員改選にあたり、社会教育委員への派遣の依頼があったものです。秦野議長とも事前に協議した上で、現在も検討委員会の委員長を務められている小林委員を派遣したいと考えています。御意見があればお伺いしたい。

(秦野議長)

ただ今事務局から説明がありましたが小林委員、お引き受けいただけますか。

(小林委員)

承知した。

2 議題

(1) 第56回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会について

(秦野議長)

前回の定例会で委員の皆様からいただいた意見をまとめ、7月1日に開催された研究部会で相模原市の意見提案として発言し、多くの自治体から賛同をいただきました。その結果として10月の理事会に諮ることになりました。

「社会教育の可能性」の部分については、相模原市の案でもあり「社会教育委員の可能性」としたい旨の意見を出したが、結果としては「社会教育の可能性」となりました。

シンポジウムについては、研究主題と同じく広いテーマでよいのではといった意見があり、県事務局の方で再度調整した上で、次回の研究部会で諮られることになりました。

分科会については、小池会長案、相模原市案、県事務局案を基に引き続き検討することになりました。

(2) 今後の研究・調査に向けた意見・情報交換

テーマ「相模原市の社会教育に思うこと」

議長より、3グループに分かれてワールドカフェ方式での意見・情報交換を行う旨の説明の後、意見・情報交換を行った。

主な意見は次のとおり。

(Aグループ)

- ・大学生や高校生等の若い人の地域活動を取組んだ事業をやるべき。若者単体ではなく、子どもと大人と一緒に一つの事業をやることが望ましい。
- ・地域学校協働活動、コミュニティ・スクールの事業をスピーディーに進めていく必要がある。そのためにも、地域人材の掘り起こしを地域としてもやるべきである。
- ・地域人材の発掘はとても重要である。子どもたちのための地域人材だけでなく、子どもたち自身も地域人材である。
- ・学校側としても、教職員だけでは子どもたちに教えきれないことが多々ある。そういった状況も踏まえて、地域にも学校に関わってもらいたい。
- ・人材バンクの様な枠組みを設けることで、地域人材が発掘しやすくなるのではないか。

(Bグループ)

- ・自治会を発足するにあたり、住民にアンケート調査を実施した結果、自治会はいらない3割、新しい自治会発足は3割、既存自治会への加入は3割であったので、自治会でやることを整理し、役員の在り方、会費の徴収など知恵を出し合いながら運営している。
- ・地域の人も、子どもたちにも関心があったためか、悪いことをするとよく怒られた。
- ・個人の要望が中心となっている影響なのか社会教育事業の中で、繋がりを作ることができなくなっている。
- ・PTAの役員もなかなか手がいけない。最近は、子どもたちのためにやるという考えでなく、大人自身の都合で役員を受けない。
- ・登校班の在り方も学校によって、いろいろな対応があり、保護者であったり、子ども会であったり、地域であったりしている、登下校の見守りは必要ではない

か。

(Cグループ)

- ・地域での活動の低下、なり手の不足が課題である。
- ・共働き社会の弊害ではないか。
- ・親が様々な体験が少ないことによる悪循環が生じている、これらに対する取り組みを紹介していきたい。
- ・地域での取り組みが「やって当たり前」と思われている。
- ・居場所とは「スペース」だけではない。自分の存在価値を確かめられる時間があること。公民館で若者の力を活かし、おとなが見守るという活動がもっとできると良い。

(全体的な意見交換)

(石川委員)

色んなアイデアが出てきた。私たちのグループの中では、コミュニティ・スクールを活用し、地域と学校をどう繋いでいくか、そこに人材をどんな風に掘り起こして、つないでいくかを議論した。他にも、自治会を全く新しいルールに見直し、会員を増やした事例の話があり、相模原市内で起きている話であり、是非、皆さんに知ってもらって広がればというところが大きな課題だと感じた。

人材は、大きな特技を持っていなくてもよくて、学びながら身に付けたことを誰かに広める。次回の調査研究にどう繋げるかは大きな検討事項である。

(渡邊委員)

図書館を中心とした複合施設が淵野辺で進んでいる。これを市内の他の区にどの様に広げられるか市の課題、委員の発信の仕方も重要である。まちづくりの視点や居場所の視点で共感いただけたりした。

(若林委員)

小学校の統廃合に伴う廃校した学校の跡地を活用して、子どもの居場所、高齢者の憩いの場等、多世代交流できる場所として整備できればと思っている。そういった提案を社会教育委員として提言できる機会があるとよいのではといった意見が出ていた。

(秦野議長)

今日の意見をもとにして、研究報告書の軸をつくろうとはまだ考えていない。委員がお互いどんな情報を持っているか、何を考えているかを共有するきっかけです。意見の広げ方、活用の仕方等はこれからの定例会の中で考えていきたい。

詳しく聞きたい話があれば、その委員と直接連絡してください。今後も情報交換してもらえたらと思っています。

(3) その他

事務局より、公民館職員研修の開催概要（目的、候補日、内容等）について説明

した上で、委員の参加意向を確認した。

(秦野議長)

研修の主な目的としては研究調査報告書についての感想や、現場で日頃感じている思い等を公民館職員から伺いたいと考えています。

(金子委員)

日程上は参加可能であるが、講師としての出席に少し抵抗がある。

(秦野議長)

位置付けは研修であるが、内容としては、公民館職員と社会教育委員の意見交換をメインで考えている。是非、皆さんに気軽に参加していただきたい。

(渡邊委員)

来年度の関東甲信越静研究大会神奈川大会に向けて、今後はどの様に進めていく予定なのか。

(秦野議長)

直近のスケジュールとしては、10月に県社会教育委員連絡協議会理事会、11月に神奈川大会実行委員会研究部会が予定されている。来年度に向けて社会教育委員としてどの様に進めていくかは、これから事務局と調整していくところである。

県社会教育委員連絡協議会会議等に参加するにあたり、こんなことを伝えてほしい等の意見があれば、会議の場で発言をしていきたいと思うので、事務局で委員の皆さんの意見を取りまとめていただきたい。

(事務局)

後日、公民館職員研修の日程調整をさせていただく際に、併せて、委員の皆さんの意見の有無等を確認させていただきます。

(秦野議長)

以前、委員の方から相模原市として今後どういう方針のもと社会教育を進めていくかを確認したいとの意見をいただいたので、「令和6年度相模原市教育委員会点検・評価結果報告書」を用意しました。第2次相模原市教育振興計画に基づき取り組んでいる各事業の進捗状況を、成果指標に基づき分析し、評価したものである。

現在、相模原市として社会教育に関してどのような事業が展開されているか、どんな課題を抱えているか等を知ることができるため、同じく、公民館資料と併せて、公民館職員研修の前までに目を通していただくとよいと考えています。

以上で、社会教育委員会会議第2回定例会を終了します。

秦野議長の挨拶で会議を終了した。

以 上

令和6年度 第2回社会教育委員会議定例会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	奈良田 久	相模原市立小学校長会		出席
2	金子 友枝	相模原市文化協会		出席
3	中村 岳彦	相模原市P T A連絡協議会		欠席
4	大久保 宗俊	相模原市公民館連絡協議会	副議長	出席
5	安西 信行	相模原市青少年関係団体連絡会		出席
6	長沢 亜希子	こみかる・きつず相模原		出席
7	若林 由美	一般社団法人 こども家族早期発達支援学会事務局長		出席
8	石川 利江	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
9	秦野 玲子	学識経験者（RE Learning代表）	議長	出席
10	本橋 明彦	学識経験者（（学）相模女子大学事務局長 （総務担当理事））		欠席
11	小林 政美	学識経験者（特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら 副代表理事）		出席
12	高橋 修一	公募		出席
13	渡邊 健一	公募		出席
14	雨宮 健一郎	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク		出席